

「きょうだい」支援事業 実施要綱(案)

主 催 全国重症心身障害児(者)を守る会東北ブロック
ブロック長 田村 輝雄

宮城県重症心身障害児(者)を守る会
会 長 秋元 俊通

1. 日 時 平成20年11月22日(土) 10:30~15:00
2. 場 所 仙台市 イズミティアー21
〒981-3133 仙台市泉区中央二丁目18-1 TEL 022(375)3101
3. 事業名 独立行政法人福祉医療機構長寿・子育て・障害者基金事業
「社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会」
重症心身障害児(者)のきょうだい支援交流キャンプ事業
4. 事業趣旨 本来は、「家庭内外に及ぶ様々な悩みを抱える重症心身障害児(者)の『きょうだい』とその家族を支援するため、全国4か所で『きょうだい』交流キャンプ、『きょうだい』について語る親の会を開催する。」であるが、当ブロックでは、以下の「5. 事業概要」に変更する。
5. 事業概要 障害児を『きょうだい』に持つ子供(以下、「障害児を『きょうだい』に持つ子供」を『きょうだい』と記載します。)の子育てについて親および『きょうだい』の養育等に携わる関係者(下記「4. 対象」参照)に、講演や体験談を通して『きょうだい』の心理状況等を理解していただき、『きょうだい』への接し方や子育てについての悩みなどを親や関係者で話し合っていたいただき、以って『きょうだい』の養育の支援に繋げていくことを趣旨とします。
6. 対 象 障害児の親(重症心身障害児の親に限りません。) 障害児の所属する学校等の教員・施設の職員、『きょうだい』の所属する学校等の教員等
7. 後援(予定) 宮城県教育委員会・仙台市教育委員会
8. 内 容
 - (1) 10:30~11:15 講 演
「『きょうだい』のストレスとそのフォロー」(仮題)
東北大学大学院医学部保健学専攻 教授 塩飽 仁氏
(医学博士・看護学修士 家族支援看護学講座)
 - (2) 11:25~12:10 講 演
「医師の目から見た『きょうだい』の子育て支援」(仮題)
宮城県拓桃医療療育センター 医師 田中総一郎氏
(小児科主任 医長 地域・家族支援部長)

12:10~13:00 昼 食

(3) 13:00～15:00 パネルディスカッション

『きょうだい』の子育てとメンタルケア」(仮題)

コーディネーター 尚綱学院大学講師 阿部 幸泰 氏
(宮城県守る会参与 元国立西多賀病院指導室長)

① 『きょうだい』を子育て中の親の意見」

重症児・者の親 松田 光江 氏
(重症児・者：24歳・男性・入所)

② 『きょうだい』を育てた親の経験談」

重症児・者の親 谷口 悦子 氏
(重症児・者：37歳・女性・入所)

③ 『きょうだい』の経験談」-1

重症児・者の弟 吉田 裕哉 氏
(重症児・者：32歳・男性・入所)

④ 『きょうだい』の経験談」-2

重症児・者(46歳・女性・入所)の妹 佐久間朋子 氏
(重症児・者：46歳・女性・入所)

⑤ パネルディスカッション(質疑応答を含む)

9. 参加費 無 料 (昼食は当会で準備させていただきます。)

10. ご家族の同伴 障害児・者および『きょうだい』をご同伴下さい。

看護師・介護士を配置した障害児・者のケアルームとヘルパー等を配置した『きょうだい』のためのプレイルームを用意しております。障害児・者の介護や摂食等の為の器材等が必要な場合は、下記「11. 申込先」まで、お問い合わせください。

11. 申込先 宮城県重症心身障害児(者)を守る会 事務局 (火・木 10:00～16:00)
Tel・Fax 022-261-1050

12. 申込方法 上記時間帯であれば電話でお受けできます。
上記時間帯以外は、ファックスまたはeメールでお願いします。
eメールアドレス: mamorukai-myg@triton.ocn.ne.jp

13. 申込締切 11月11日(火)

14. その他 ご不明の点は、上記「11. 申込先」まで、お問い合わせください。

注1：本文中『きょうだい』とは、障害児・者を兄弟姉妹に持つ健常の子どもを略記したものです。

注2：本文中「重症児」とは、重症心身障害児を略記したものです。

注3：本文中「重症児・者」とは、成人の重症心身障害者を含めて略記したものです。